

資産運用レポート：リーマンショック後の 10 倍株

1 はじめに

今からちょうど 6 年前の 2009 年 2 月、リーマンショックという「100 年に一度の危機」にさらされたばかりの株式市場にて、投資家は日経平均 7000 円割れにおびえていました。

株という株が売られる中で、JIN (3046) が 39 円の安値をつけます。成長株として期待されていたにもかかわらず、2008 年 8 月期決算が最終赤字に転落したからです。上場後につけた高値 850 円の 1/20 以下になるという、ひどい下げでした。

その後、同社は成長路線に回帰。アベノミクス相場にも乗り、株価は大幅に上昇します。2 月 20 日終値は 3,425 円。2013 年 5 月の上場来高値 6,020 円よりかなり値下がりしているとはいえ、87.8 倍になっています。

このように、株価の低迷している期に思い切った投資を行えば、大きなリターンを得られた銘柄はけっこうあります。

今回の資産運用レポートでは、リーマンショック後の 10 倍株 (テンバーガー) について取り上げます。

★ JIN 株価チャート (月足)

